

第3回海津市総合計画審議会 議事要旨

日時 平成28年9月14日（水）
午前10時から
場所 海津市役所 4階 災害対策本部室

1. 開会
2. 事務局からの報告
 - (1) 第2回審議会での意見に対する対応について
3. 議事
 - (1) 基本計画（案）について
 - (2) その他
4. 閉会

(1)第2回審議会について

第2回審議会での主な意見とその対応状況について、修正箇所を赤字表記としていることを報告した。

(2)基本計画(案)について

議事「基本計画（案）について」で検討のポイントを事務局より説明した。

質疑応答は以下のとおり。

- 委 員** : P33 成果指標「大腸がん検診受診者数(受診率)」は現状値 20.7%から目標値 20.0%と下がっているが良いのか。
- P34 8行目の「子育て短期支援事業等の」は、次行の「サービスの提供」の前に置く方が分かりやすいのではないかと。
- P35 ファミリー・サポート・センター事業は未実施であるため、施策の方向としては、「周知を図る」ではなく「実施を図る」の方が適切ではないかと。
- P68 出生率の低下による教育内容、通学区域、統廃合等の課題に対する施策の方向が必要ではないかと。
- P69 施策の方向1の5行目は、「環境共生社会社会」と社会が重複している。
- 事 務 局** : 担当課に確認の上、検討し修正する。
- 委 員** : P37 施策の方向3のタイトルは「障がい者（児）」ではないかと。
- P37 施策の方向4について、発達支援センターの役割は療育だけでなく、発達支援、就労、研修等があるため、タイトルが”療育”で限定的な表現ではないかと。
- P37 成果指標「発達支援センター相談児数」について、利用すべき人はもっとたくさんいるように思う。充実してさらに利用してもらうことを考えると、目標値が低いのではないかと。
- 委 員** : ファミリー・サポート・センター事業とは何か。
- 委 員** : 自宅や小規模事業所で就学児を預かる活動である。
- 委 員** : 乳児を持つ人に対しての時間単位での預かり施設も必要である。
- 委 員** : P61 施策の方向4では、上下水道会計の健全化では、整備済地域での加入率の向上を促すことの記載が必要ではないかと。
- 委 員** : 全体を通して推進しますという表現であるが、具体的に何をして推進するのかを記載する必要があるのではないかと。
- 事 務 局** : 具体的な事業は、実施計画で記載する。
- 委 員** : P85～P86の農林漁業の施策の方向1～6では、海津・平田の水田に関することであり、南濃に関する施策がない。また、林業・水産業については、もう少し具体的な施策は記載できないか。成果指標も水産業の指標がない。

- 委員：P89 施策の方向は商店街を活性化するための施策であるが、そもそも商店街という受け皿がない中では効果的な結果が出ないのではないか。行政として個社支援の施策をもう少しお願いしたい。
- 委員：P42 民生委員などの引き受け手がいない。仕事のある人は、引き受けてもらえない。このような社会・雇用環境を考慮した上で施策を考えてもらいたい。
- 委員：P55 今後空き家が増加すると思うので、空き家の実態把握にとどまらず、具体的な施策が必要である。
- 委員：P69 施策の方向 1 の 5 行目は、「環境共生社会社会」と社会が重複している。
P69 小中学校のパソコン使用はどのような現状なのか。
P77 成果指標「歴史民俗資料館 特別展開催期間来場者数」の現状値 0 人は本当か。
- 事務局：「歴史民俗資料館 特別展開催期間来場者数」の H26 は開催していないため 0 人である。「未実施」の方が適切であるため修正する。
- 委員：P70 生涯学習環境の充実では、交通不便者が外へ出られない状況があるため、充実とあわせて、参加しやすい環境づくりも必要である。
- 委員：全体的に施策の中で、推進するとあるが、市役所の職員が現場に入って推進していくことが必要ではないか。
- 事務局：市民と行政の協働が基本的な考え方である。行政ができることは限られているため、地域でできることは地域で進めていただきたい。
- 委員：P31 かかりつけ医を持つことの周知はアンケート調査を実施して周知することもできるのではないか。
P72 青少年育成推進員の活動の認知度が”低い”という表現はいかがなものか。
- 委員：P38,39 特別養護老人ホーム、介護老人保健施設の入所待機者が多いという課題はあるが、それに対する施策がない。
- 委員：P87 成果指標「6 次産業化商品開発数」「新規就農者数」は言葉の説明が必要ではないか。「農用地の利用集積率」は、「担い手の集積率」ではないか。
現況と課題のところで、農業の就業者数のグラフがあるとわかりやすいのではないか。
- 委員：P31 成果指標「休日・夜間の救急診療日数（受診者数）」の目標値の設定の考え方は。
P59 施策の方向 1.消防体制の充実の中で、消防団員の確保は必要ないのか。
P61 施策の方向 4.上下水道会計の健全化の中で、経営戦略の策定とあるが、経営戦略に基づいて何をするのかが必要ではないか。
P107 CCRC が何なのかの説明は必要ではないか。
P93 外国人旅行者の受け入れ体制は施策に必要ではないか。
- 委員：現行計画がどうだったのかを踏まえた上で実施計画において具体策を示すべき

である。

- 委員：P81 オランダ派遣は行われているのか。
- 委員：未実施である。派遣に向けてこれから検討する段階である。
- 委員：予算で2人分の渡航費は計上されているが、テロの影響で足踏みしていたようである。

事務局：各委員からのご指摘は担当課へ確認し、検討・修正する。

【その他】

- 委員：数字、アルファベット、カ所の表記の統一が必要である。
- 事務局：一通り確認する。

第4回審議会日程(予定)

第4回審議会は10月13日(木)10:00からを予定している。

以上

【会議の様子】

